

令和3年度 放課後等デイサービス自己評価表

【放課後等デイサービス事業所「たいよう」】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動内容に合わせてスペースの区分けを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・適切ある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・屋外入り口は階段のため手すりを設置、施設内はフラットで段差がない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・行事や活動時毎計画を立て、毎日のミーティングや会議で振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の意見はその都度聞き、改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページでの公開をしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントをもとにスタッフ同士でミーティングを行い作成。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・使用して行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・計画を立てて行っている。・チームで行えるようにスタッフで話し合いをもうける時間をしっかり取れるようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・ミーティングでその都度内容を話して新しいものを取り入れるように工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・計画を立てて行っているが、課外活動を自粛しているため工作活動をメインに実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・職員間での話し合いを行い、課題などを行っている為。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・申し送りを必ず行っているが、すべての内容を把握するまでに至らない時もあるので、役割分担を徹底していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・その日、または次の日の朝に行う。・何かあれば共有したり、振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日誌や記録を毎日している。・支援経過などミーティングを行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・その都度スタッフ同士で話し合いを行い、意見が偏らないようにサービスの見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・ガイドラインに乗っ取り行っている。 ・ガイドラインは職員がいつでも手の届く位置にあり、読めるようにしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・その都度ふさわしいものが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎時に先生に家の様子や放デイの様子を伝えている。 ・変更があった場合は必ず行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報共有は電話で行っている。 ・相談を通して情報共有は必ず行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・連絡などはあるが、研修はできていない。 ・現在は出来ていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・コロナ渦もあり、外出自体を自粛している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・コロナ渦もあり、参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時に必ず様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・悩み相談などのお話をしている。 ・質問や困りごとはその都度聞き取りを行っているため。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・見学や契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった時や、送り時に助言などを行っている。対応に困った時は話を持ち帰り、チームで話し合い上司に確認してから話している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・ここ数年コロナの影響で開催できていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・会議で話したり、書類の作成、保護者対応もできている。 ・ご意見があった場合は職員に共有報告を行っているため。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月事業所で新聞を制作して渡している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・十分に注意をして対応している。 ・個人情報が記載されているものはロッカーなどで保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・言葉使いはもちろん、身振り手振りもいれてわかりやすく伝えている。 ・大事な話をするときは相談室などを使い個別に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・大人数の行事はコロナのため招待はしていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・コロナ対応マニュアルなどを周知しているため。 ・会議等で話している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・避難訓令を定期的におこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・その都度対応の振り返りなどで行っている。 ・研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・指針やマニュアルに定め、契約時に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・指示書はないが、親からの確認をしている。 ・職員同士で共有している。 ・保護者からアレルギーの聞き取りを行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・会議などでその都度共有をしている。

令和3年度 放課後等デイサービス自己評価表

【放課後等デイサービス事業所「キラ」】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・スケジュールや時間で児童が一カ所に集まり過ぎないようにしている。・死角になっている部屋が多いので、スタッフに声掛けしながら工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・職員人数が少ない日は事前にスタッフ間で話し合い、業務の割り振りをしている。・少ない人数ながらも協力し合い行動している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・階段や段差等があるので、低学年や補助が必要な児童は手を繋いだり、職員が前後に付くようにしている。・3階の上り下りには声掛け見守りを行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日々の児童の様子をミーティングでスタッフ同士が共有し、モニタリングやプランに反映している。児童への対応方法などもその都度話し合うようにしている。・児童1人1人の計画書を正確に把握しきれていないが、相談、報告をしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年に一度のアンケート調査の保護者の意見や、日々の送迎等で話す中で聞こえる意見やスタッフ間で話し合い、対応している。すべて把握できていないので、少しずつ把握して1つでも多く改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに公開されている。・前年度の結果を見ながら今年度との違いや反省点を考えていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修で学んだことを活かす為、スタッフ間で復習したり定期的に開催される研修に積極的に参加するようにしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントを元に日々の児童の活動姿や保護者の方の話をミーティング等で共有し、スタッフ同士が共通の情報を持つことで計画を作成しやすくなるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・使用できているが、古くなったものや変更が必要なものはピックアップしてその都度変えていくようにする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・スタッフで話し合いを行い、月々の活動を立案、計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・重複しないように、新しいものも混ぜながら、色々な活動ができるようにミーティングなどで立案し、組み込んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・1日の活動の流れなどを考えながらスタッフで話し合っ決めていく。・長期休みは工作活動、外出行事などのレクリエーションを多く増やしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童の状況を考えたグループ分けや活動を考え、できるだけ全員が様々な活動に参加できるように計画をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・スタッフ間で情報の行き違いや知らないことがないように、支援開始前やメモなどを使い情報共有や確認を行っている。・支援中の確認もし合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・送迎後に、その日気になったことを話し合い、できなかった場合にはメモを残し、次の日の朝のミーティングで情報共有ができるようにしてある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・その日あった事や気になった事、保護者からの相談など細かく支援経過記録に記録をとるようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・モニタリングの際にはスタッフ同士でその児童の様子や日々の言動について話し合い、1人1人の計画に反映させることが出来るように心掛けている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・日々のスケジュールや、休日のレクリエーションなどを組み合わせ、児童が決まったものではなく複数の活動に取り組めるようにしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児発管や保育士などの資格保有者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・各学校と日々の下校時間のやり取りはもちろん、担当の先生に見学に来てもらうなどして交流をはかり、情報交換や共有を行うようになっている。 ・送迎時1日の様子を先生に確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・相談支援事業所を通して情報共有している。 ・直接的なやり取りは多くないので繋がりのある情報共有はあまりできていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・必要に応じた情報共有を行うが研修は受けていないので今後機会を見受けていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・外出レク等で出くわすことがあるが、交流、活動までにはいたらない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・配布物等がある時しか関わっていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時を活用して保護者とのコミュニケーションとり、情報共有をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・相談や困っていることなどを日常の会話から聞き取り、それに対し当事業所で行っている支援方法を伝えたり、サポートができるよう心掛けている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際に説明を行い、その後も必要な場合には説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時などでコミュニケーションを多くとり、その場で判断できない内容は後日スタッフで話し合ってから伝えるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・コロナ渦などの影響もあり、開催ができていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・すぐにスタッフ間でも情報共有を行い、児発管を中心に保護者や児童への説明、対応を行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・月に一回、児童の様子やレク活動などをまとめた会報を発行している。・行事などの活動では忘れずに写真をとるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・書類等は児童や外部の人が手の届かない場所に保管している。・他所で仕事に関する話はしないようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・話し方や身振り手振りを使い、分かりやすく話すように心掛けている。・連絡帳などを使って工夫をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナの関係もあり、招待までいたっていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各マニュアルを事業所に設置していつでも確認できるようにしている。・感染対策のセットは職員が全員分かる場所に設置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的な訓練を行い、その際に合わせて備品などのチェックをしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・スタッフで研修を受け、ディスカッションを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・組織的決定はされているが、現在対象児童はいないため、今後必要児童が出た場合は説明などをしっかり行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・児童のアレルギー表も作成し、職員間でおやつ時の確認もしっかり行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットを回覧し、スタッフが把握できるようになっている。・会議等で周知を行っている。